

4. 南関東（地域別調査機関：（財）日本経済研究所）

（-：回答が存在しない、：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由	
家計 動向 関連	良くなる	家電量販店（営業統括）	・昨年と比較すると、気温が高い日が続いており、この先も平年より気温が高く、エアコン販売も堅調に推移すると判断している。オリンピック需要で、薄型テレビ、DVDレコーダーの販売数量も大きく伸びると予測している。	
	やや良くなる	商店街（代表者）	・この半年間、カードによる売上が良く、来街者数も増加していることに加え、今後予定しているイベントについての問い合わせも多いので、梅雨明け後も来街者数の増加が見込まれる。	
		一般小売店〔CD〕（営業担当）	・昨年に比べると、予約も順調であり、オリンピック開催に便乗した商品の売上にも期待できる。	
		百貨店（販売促進担当）	・改装前の売りつくしなど、セールによる効果に期待できるので、直近の売上は確保される。秋以降も大規模イベントなどがあり、集客は伸びる。	
		スーパー（店長）	・昨年は長雨、冷夏であったが、今年が例年どおりの天候となれば、夏物商品を中心に、昨年を大きく上回ることができる。	
		スーパー（店長）	・現状は昨年比102～103%まで回復しており、今後、食料品の販売量は今以上に伸びてくる。	
		スーパー（統括）	・高級品の質上点数が増加する傾向が一部にみられる。全体としては家計の支出を抑えるが、多少ゆとりが出てきているのか、同じ商品の中でもおいしいもの、高いものを購入する傾向が出てきている。	
		コンビニ（経営者）	・長期予報によると今年の夏は暑くなるようなので、客の動きが活発化し、売上も良くなる。	
		衣料品専門店（経営者）	・ボーナス払いのクレジットや、ボーナスが出たので小遣いをもらったなど、ボーナスの話が今までになく客から聞かれるようになってきているので、これが消費につながれば、少し良くなる。	
		家電量販店（店長）	・付加価値のある商品に対する客の問い合わせが、最近非常に多く、酸素エアコン、ドラム式洗濯乾燥機、食器洗い機、薄型テレビ、HDDVDレコーダーなどヒット商品が各分類から出始めている。	
		その他専門店〔燃料〕（統括）	・原油高騰により、市況価格が安定する。	
		スナック（経営者）	・客の話では、各企業とも残業が少しずつ増加しているようであり、このまま推移すれば景気は多少良くなる。	
		都市型ホテル（スタッフ）	・夏場にかけてはオンシーズンであるため、宿泊の稼働率は上昇する。9月に大きなグループが入っているため、期待できる。	
		タクシー運転手	・タクシー業界では、サービス営業に取り組んでいるので、乗客が近距離でも安心して乗れる環境が確立しつつあり、最近ではチップをもらえるときもある。今後も良くなる。	
		通信会社（営業担当）	・8月納品予定の専用チューナーの受注が好調である。オリンピックの開催を控え、6月末には完売する見込みである。	
		通信会社（営業担当）	・業界関連では、各事業者の設備投資等も活発である。サービスエリア内の客の反応は、以前より明らかに良くなっており、ケーブルテレビ加入に伴う大型のプラズマテレビやハイビジョンテレビの購入検討などの話題も多くなっている。	
		住宅販売会社（従業員）	・金利が上昇傾向にあるので、今のうちに住宅購入を、と考える人々が動き出す。税制面で優遇のある年内入居を目指した駆け込み需要にも期待でき、分譲住宅の販売増が見込める。	
		変わらない	商店街（代表者）	・客が、賃金が増加することは期待できないと話している。今年のボーナスも出ない人が結構いるようで、特別なことがない限り、景気が良くなることは考えられない。
			一般小売店〔家電〕（経営者）	・オリンピックの影響で、多少商品が売れるとよいが、そのような感触もないので、現状のまま推移する。
			百貨店（広報担当）	・残暑が長引くと、夏物は商材がなくなっている一方で、秋冬物衣料の動きが鈍り、売上が前年割れとなる可能性が高い。大型ヒット商品が不在で、ボリュームゾーンの顧客の所得が下がっている現状で、社会保険料の負担等が増えれば、厳しい商況となることが予想される。

百貨店（広報担当）	・オリンピックを控え、家電製品などの一部に動きが出る反面、百貨店の主力商材である衣料品、雑貨に対する支出は差し控える顧客が増える。
百貨店（営業担当）	・百貨店離れと言われており、依然厳しい環境にある。依然としてデフレを脱しきれていないため、自信を持って単価の高い商品の提案を行うことができない状況が続いており、来客数が大きく伸びる要素がない中、この夏の回復は無理である。
百貨店（営業企画担当）	・夏物衣料品のクリアランスセール売行きをみると、今後も秋冬物の衣料品の売上が増加しそうな感触は得られていない。
スーパー（経営者）	・やや良くなる気配がないわけではないが、足元の客の動向はなかなか良くなっていない。この状態が2、3か月続く。
スーパー（店長）	・5、6月は昨年よりも天候に恵まれているにもかかわらず、主力の婦人服、服飾、紳士服などの苦戦が続いている。6月末に商圈内に大型ショッピングセンターが開店する予定であり、今後は更に厳しい状況になる。
コンビニ（店長）	・少しは客の暮らしが順調になってきた様子がうかがえる一方で、ローンの返済に困っているという話も聞く。
衣料品専門店（経営者）	・繊維製品の価格低下は相変わらず進んでいる。来客数、売上点数は多くても、売上は微増にとどまる。
衣料品専門店（店長）	・現状で、客の購入単価がかなり上昇しているため、これ以上の上昇は見込めない。
家電量販店（店員）	・2、3か月前は、オリンピックも終わり、景気が良くなる材料がそろっていないので、厳しい。
乗用車販売店（販売担当）	・依然として高級車販売が良くない。コンパクトカーや低価格車種も、販売台数は若干増加しているが、ボーナス時期の割には伸びが今一つで、今後にも期待できない。
乗用車販売店（総務担当）	・6月の受注台数は、昨年比85%程度にとどまっており、芳しくない。デジタル家電に消費者の金が続いていっている。この傾向は、オリンピックが終了するころまで継続する。
その他専門店〔キャラクターグッズ〕（従業員）	・夏休み期間中の来客増に期待したいが、余暇時間の確保が困難である以上、多くを望むことはできない。
その他専門店〔眼鏡〕（店員）	・4、5月はサングラスが好調に推移していたが、6月に入って伸びがみられず、昨年とほぼ同じである。このままでは、クリアランスに入っても前年と変わらない。
高級レストラン（支配人）	・月により来客数、売上の変動があるが、当地域は、ビルの地下にレストランが入っているほか、ビルの前で弁当販売も行われており、ランチの安売り激戦区である。高級店には客が来ない状況は続く。
一般レストラン（経営者）	・当店では、改装やメニューの改良で来客数が回復しつつあるが、商店街全体では低迷の域を脱していない。
一般レストラン（店長）	・ボーナス時期であるが、客の話では使い道は決まっていって、それ以外は貯蓄に回るので、飲食には金が回らず、変わらない状況が続く。
旅行代理店（従業員）	・ボーナスが出たので、動きが出るかと思ったが、そうでもない。自動車業界等、一部に良い業界もあるが、一般的に業績が良くなるまでにはまだ時間がかかるので、低迷が続いたままで変わらない。
旅行代理店（従業員）	・秋の旅行が動き始めているが、単価の上昇には期待できない。新しい企画も、予算を重点に置いているので、景気が良くなるまでには至らない。
タクシー運転手	・景気回復の兆しが見えてきたと報道されているが、自分の近辺では、そのような気配は全く感じられない。当分景気が悪い状態が続く。
タクシー運転手	・夏に向けて暑くなると、多少は良くなるものの、夜の売上にはあまり期待できない。同業者は各社とも増車しており、運転手1人当たりの乗客数が減少することは必至である。
ゴルフ場（支配人）	・2、3か月後の客の来場予約等が、例年並みである。
競馬場（職員）	・売上、来場者数、客単価とも、前年度比でマイナスとなっており、回復の兆しが見えない。
その他サービス〔語学学校〕（総責任者）	・販売単価や来客数、競合他社の動きなどから総合的に判断すると、今後、景気が上下に大きく動く気配がない。

		設計事務所（所長）	・自治体からの指名もかなり少なくなっており、建物も小型化し、改修が増加している。受注者も予算の半額以下で落札している。民間の業務が少なくなっているため、ダンピングが行われる傾向は、今後も続く。
		住宅販売会社（従業員）	・着工については、住宅ローン控除の影響で増加するが、受注量に大きな変化はない。
		住宅販売会社（従業員）	・5月までは販売が振るわなかったが、ここにきて販売が回復し始めている。この販売件数が今後も維持される。
やや悪くなる		商店街（代表者）	・当店で万引きをする小中学生、高校生が増えている。数か月前までは、万引きした商品を買取ってもらっていたが、最近ほぼ全員お金を一銭も持っていない。各家庭の厳しさがうかがわれ、景気は悪くなる方向に向かっている。
		百貨店（営業企画担当）	・主力である40歳以上の女性顧客の売上減少幅が大きく、百貨店の主力である婦人服購入金額が激減している。今後も、ファッションへの消費は極力抑え、将来生活への備えによる支出減が予想される。
		コンビニ（経営者）	・酒類販売の免許が自由化され、今年に入っても20～30軒の店が販売を始めている。大型店も参入し、営業時間も延長しているため、良くなる見通しが立たない。
		衣料品専門店（経営者）	・春物衣料もあまり良くなかったが、今年は残暑が厳しいようなので、8、9月前半の商戦が苦戦を強いられる。
		その他小売〔雑貨卸〕（経営者）	・金利の上昇が、ようやく上向ってきた消費意欲に水を差す可能性がある。
		一般レストラン（経営者）	・ケータリング、レストランと、いろいろな面で頑張っているが、売上はほとんど変わらないが、マイナスになっている。2、3か月後に景気が良くなる状況ではない。
		都市型ホテル（スタッフ）	・秋の婚礼の減少を補う一般宴席を取り込めていないので、厳しい状況が予想される。レストラン等も夜の集客がなかなか伸びず、厳しい。
		旅行代理店（従業員）	・6月の受注件数、見積件数が少ないので、2か月後も良くない。
		タクシー運転手	・世間で景気が上向いていると言っても、タクシー業界では増車傾向もあり、運賃の値下げ競争が続き、悪くなる一方である。
		その他サービス〔学習塾〕（経営者）	・夏期講習が7月下旬に始まるが、申込が昨年比べて若干少ない。
悪くなる		一般小売店〔茶〕（経営者）	・2か月連続で売上が前年割れしており、今後もこの状況が続く。とにかく、とても悪い。
		コンビニ（経営者）	・ただでさえ厳しい環境にある中で、近隣のスーパーが深夜営業を実施し、さらに24時間営業の大型スーパーが来週にも開店する予定であり、壊滅的な影響を受ける。
		自動車備品販売店（経理担当）	・現状が予想以上に悪いため、今後の見通しが立たない。見積は非常に多いが、売上につながらず、単価が安ければ何でも良いという傾向が強まっている。今までのやり方では対応できない。
		その他小売〔生鮮魚介卸売〕（営業）	・6月だけで、同業者が2件倒産している。
		美容室（経営者）	・周囲にディスカウント店が乱立し、過当競争が続く。
		設計事務所（経営者）	・当事務所では行政関連の仕事が80～90%を占めているので、指名があった上、さらに入札という厳しい関門を通過しなければならず、先が全くみえない。民間の仕事をもっと頑張らなくては行けないが、景気が良いのはリストラを断行した大企業だけで、全体としては上向いていない。
企業 動向 関連	良くなる	-	-
	やや良くなる	出版・印刷・同関連産業（営業担当）	・6月は、2つの上場企業から支社長の交代による特需があったほか、新会社の設立が多くなっているのが目立つ。
		金属製品製造業（総務担当）	・製品の値上げも徐々に浸透している。
		一般機械器具製造業（経営者）	・新規の受注が見込める仕事は何件もあり、今後は全体的に忙しくなる。
		金融業（審査担当）	・製造業の受注状況は引き続き順調に確保されており、売上増加が見込める。
		金融業（渉外担当）	・相変わらず地価の下落が続く中で、キャピタルゲイン指向の投資はないが、インカムゲインを不動産に求める動きは今後も増えると予想される。
		不動産業（従業員）	・住宅地、工場地等の一部に地価の下げ止まりがみられ、商業地等においても、引き合いが出てきているため、今後は良くなる。

	広告代理店（営業担当）	・取引先で、大型の商品展開が複数予定されている。	
変わらない	出版・印刷・同関連産業（経営者）	・ロットの大きな仕事は中国に出て行ってしまふ。量が少なく、当店でもできるような仕事は、競合も激しく、受注が難しい。	
	プラスチック製品製造業（経営者）	・原材料が値上がりする傾向があるので、この先、受注量、販売量が減少する可能性がある。	
	一般機械器具製造業（経営者）	・受注量が横ばいで推移する中で、8月と10月に2回ほど、材料不足に起因する値上げが予定されているため、良くならない。	
	電気機械器具製造業（経営者）	・売上が昨年並みの水準で推移しており、引き合い状況も昨年並みであるから、今後は良くも悪くもならない。	
	建設業（営業担当）	・最近、単に価格だけでなく、会社の業績、実績などを評価した上で建設業者を選ぶ客が増加してはいるものの、現状の薄利は変わらないので、今後、すぐには回復につながらない。	
	建設業（経理担当）	・提案、営業以外の案件は、ほとんど先がみえない状態である。	
	輸送業（経営者）	・輸送業者は、排ガス規制や燃料の高騰により四苦八苦しており、今後も中小企業の景気は回復しない。	
	広告代理店（従業員）	・新しい地域雑誌の発行に伴って、その雑誌の広告営業を始めているが、地元中小企業の反応が悪く、景気回復の兆しがみえない。	
やや悪くなる	金属製品製造業（経営者）	・売上、受注量とも、3月をピークに6月まで落ち込んでいる。3月に増員した人員も、ここにきて多少余り気味となっており、今後は少し悪くなる。	
	輸送業（営業統括）	・競合相手をみても厳しい状況にあり、良くなる要素はない。	
	不動産業（経営者）	・2年前に新築したワンルームマンションについて、当時は敷金2か月礼金2か月で契約していたが、今では礼金を1か月にしなければ決まらない状態になっている。地価、賃料ともにまだ低下している状況で、見通しが立たない。	
悪くなる	食料品製造業（経営者）	・異常な暑さのため、原料である米の価格が上昇する。石油製品の材料費も上昇しているため、3か月先には負担が増加する。	
	輸送業（総務担当）	・出荷が計画を下回り、仕事量が非常に少ない。タイヤ、ガソリン、軽油の値上げを運賃に転嫁できず苦慮している。今後も値上げが続けば、経営は非常に厳しくなる。	
雇用 関連	良くなる	求人情報誌製作会社（企画担当）	・ほぼ全業種でアルバイト、パート、正社員いずれも求人伸びており、企業業績の先行きが好調であると考えられる。製造業でもサービス業でも、高い伸びになっている。
	やや良くなる	人材派遣会社（社員）	・派遣料金は低いままだが、派遣依頼数は増加傾向にある。
		求人情報誌製作会社（編集担当）	・昨年の冷夏に比べ、今年は夏らしい暑さが続きそうなので、季節商品の製造や販売部門の補充が見込まれる。
		新聞社〔求人広告〕（担当者）	・客から、益明けから秋口にかけて新規事業展開や新規出店を行うという話を聞いており、それに伴う求人募集が出るので、少しは良くなる。
		職業安定所（所長）	・新規学卒求人説明会に、昨年を35社上回る参加があったので、今後はやや良くなる。
		職業安定所（職員）	・大手企業等からの受注動向が好調で、中小企業に人出不足感が出ていると耳にすることが多い。 ・個人消費の好転を予測した大型商業店舗の出店及び出店計画が続いている。
		民間職業紹介機関（経営者）	・高度な知識レベルを要求する求人が増加傾向にある中で、確実に即戦力人材を採用する動きが出ている。第2新卒、2、3年社会経験を積んだ若手を求める企業が増えている。
	学校〔専門学校〕（教務担当）	・各企業の採用担当者に積極的な様子がみられ、特に情報処理産業が積極的に採用を行っている。	
変わらない	求人情報誌製作会社（営業担当）	・社員よりもアルバイトを求める傾向が強い。アルバイトに社員と同レベルの仕事任せ、希望、能力により社員登用するという動きと考えられ、積極的な求人募集をする企業は、大きくは増えない。	
	職業安定所（職員）	・派遣やパート、契約社員等の有期雇用契約の求人が目立つ。	
	職業安定所（職員）	・景気回復感はあるものの、雇用過剰の企業がまだ多くあり、雇用増には結び付かない。	
	学校〔専修学校〕（就職担当）	・7月以降の求人数が大きく伸びる要素がない。採用人数の増加や新規採用企業の増加が見込めない。	

やや悪くなる	-	-
悪くなる	-	-